

アルミ切込電軌山力曾出席者名録（順不同敬稱略）

東京帝國大學第一工學部

東京工業大學（第二班長）

航空研究所

技術院總務部總務部長

軍需省總動員局監理部

輕金屬局アルミ課長

電力局（第一班長）

機械局

軍需省工業試驗所長

電氣試驗所長

第六部長（第三班長）

第五部長（第四班長）

第三部長

輕金屬校制アルミ生課部長

草駒

野形

光

作

男

次

山

内

二

郎

大

内

二

郎

田

中

健

二

菅

谷

靖

靖

弘

山

尙

直

奥

山

軍

官

山

内

大

佐

荒

井

勤

浩

清

水

二

家

堀

岡

正

家

石

田

四

郎

尾

本

義

一

山

田

直

平

大

山

松

郎

0051

アルミ生産課長

電気機械統制會技術部長

日本發送電株式會社給電課長

日本輕金屬株式會社

東北振興アルミニウム株式會社

昭和電工株式會社

日本アルミニウム株式會社

東洋輕金屬株式會社

東京芝浦電氣 見支社

三菱電機株式會社營業部工業課長

日立製作所

富士電機製造株式會社

電氣學術研究會 幹事

主事

和服本花堀岡橋永井黒伊吉松久中金

河

田部間形口田川原上内藤山本野西田

貞勝 銀 觀 遊 恭 裕 勸 義 泰 博 正 勝 倉

吉雄 郎 司 道 三 一 次 元 敏 雄 吉 則 清 治 藏

0052

電氣絶縁紙ノ確保ニ關スルクラフトバルブ用木材並ニ芒硝配給ノ件意見書

蓄電器、電線其他ノ電氣機器等ノ主要資材ノ絶縁紙ハ其原料タルクラフトバルブノ輸入
杜絶ニヨリ専ラ國産ニ仰イザキル次第デアアルガ右電線及電氣機器ハ艦船、航空機等ノ主
要兵器ノ一部トシテ缺クベカラザルモノデアアル。

然ルニ最近木材並ニクラフトバルブ製造用芒硝ノ配給不十分ノタメ絶縁紙ノ生産高ハ著
シク減退シ軍用電氣機器及電線ノ製作ニ一大脅威ヲ與フルニ至リ、由々シキ結果ヲ生來
セントスル形勢デアアル。而シテ絶縁紙用トシテノバルブ所要量ハ僅カニ金バルブ量ノ
〇.五ニ過ギザルヲ以テ數量的ニハ問題トナラザル程度ノモノデアアル。又絶縁紙用クラ
フトバルブハ性能特ニ優秀ナルヲ要スルタメ邊材ナラザル赤松ヲ原料トスルコトヲ絶体
ニ必要トスル。

依ツテ左記數量ノ赤松材並ニ芒硝ノ配給ニ就キ特別ノ御配慮ヲ賜リ度ク右ノ通り意見ヲ
陳述ス。

記

古河電氣工業株式会社
〇月〇日

(18.1.7. 100枚509番 京師 204 66)

0053

赤松材 約 十萬石(年)

芒 硝 約 九萬石(年)

但シ右ハ昭和十七年度所要數量デアル。

古河電氣工業株式會社(厚タイフ用紙)

(18.1.7, 100枚500番 家計 284 D6)

0054

電気用絶縁並 = 其資材所要数量

昭和18年11月

1. 昭和17年度電気用クラフト絶縁紙使用実績

電線用クラフト絶縁紙	1,550 匁
力率改善用蓄電器用クラフト絶縁紙	2,100 "
ソノ他電気機器用クラフト絶縁紙	650 "
合 計	4,300 "

備 考

金屬工業統制會及ビ電気機械統制會調査

尙昭和18年度へ電線用ニ於テハ約5割 ソノ他ニ於テモ相當量増加ノ見込

2. 原料パルプ所要量

パルプヨリ絶縁紙へノロス率15%トスレバ(巴川製紙調査)昭和17年度電気絶縁紙用クラフトパルプ使用量ハ下掲ノ如シ

電線絶縁紙用クラフトパルプ	1,880 匁
力率改善用蓄電器絶縁紙用クラフトパルプ	2,470 "
ソノ他電気機器用クラフトパルプ	770 "
合 計	5,060 "

3. 原料木材及ビ芒硝所要量

パルプ應當リ木材所要量1.6石、無水芒硝0.14匁トスレバ(大昭和製紙調査)

昭和17年度電気絶縁紙用クラフトパルプ製造ニ必要ナル木材及ビ無水芒硝ノ量ハ下掲ノ如シ

木 材	81,000 石
芒 硝	710 匁

附記 (1)クラフトパルプハ上記以外ニモ低壓コンデンサーペーパー、プレスボ
ード等ノ製造ニ使用セラル、モ使用実績未詳ナリ、大体上記ノ10%
程度ト推測セラル(王子製紙ハ Kraft pulp, 使用セ、三菱、多少使用ス)

(2)原料木材ハ杉、檜ハ不適當ニシテ赤松丸材ヲ適當トス

以 上 0055